

ヤマウツボ

Lathraea japonica Miq.

ハマウツボ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧 I 類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

生育地が限られ、個体数も少ない。(現況:RO)

形態

褐紫色を帯びる寄生植物。花茎は長さ10~25cmになり、軟毛を散生する。子房は2室で各室に2個の胚珠をもつ。

国内分布

本州(関東地方以西)、四国、九州。

県内分布

外浦区。

生態など

花期は5月。寄生植物。

生育環境

タブノキ林下。

危険要因

園芸採取、踏みつけ、産地局限。

特記事項

全国的に落葉樹林下に生えるのに、本県では常緑樹林下に生育する点で異なるので、未記載種である可能性を含めて精査する必要がある。



本多郁夫・2005年6月10日・能登

分布図はありません。

県内の分布